



パールの輝きで、理系女性が三重を元気に

課題の概要

三重大学の医学研究科、工学研究科、生物資源学研究科の女性研究者の増加と研究継続の支援をめざす。それとともに、三重県下に散在する理系女性研究者の連携をめざす。

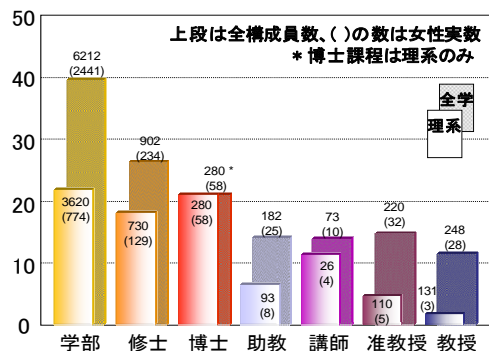
- (1) 高校生の理系分野選択支援・・・層に厚みをつける
- (2) 理系女子学生の研究および多様なキャリアパス支援
- (3) 女性研究者の育児・在宅勤務をサポート
- (4) 県内の女性研究者のネットワークを構築し連携する

女性研究者の構成

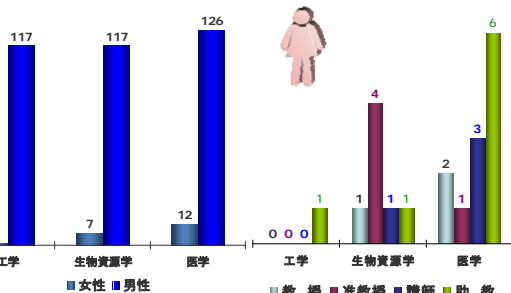
本学の女性研究者の構成は、医学を除き助教の数が低いことが問題です。次のステップに踏み出すためのプールをもっと大きくしなくてはなりません。理系3研究科の女性教員比率は現在**5.3%**です。3年後における3研究科の女性教員を倍増させ**9%**をめざします。本年度工学部に初めて女性の教員が着任し、これからに期待したいと思います。

三重大大学の現状

女性比率(%)

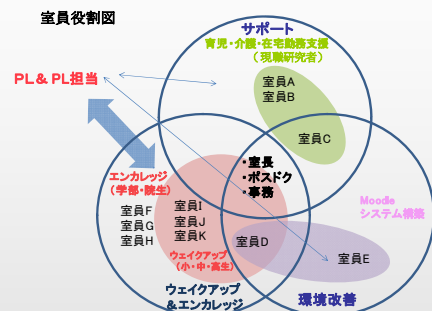
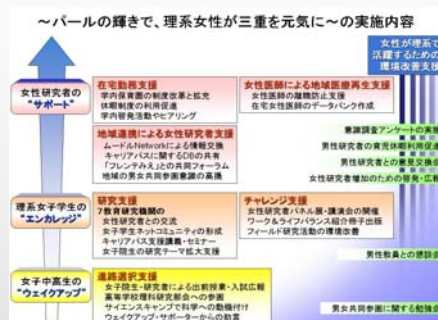


- 理系3研究科の女性教員比率 5.3% (380名中20名)
- 理系3研究科の女性教員の職階分布



本学の提案の特色

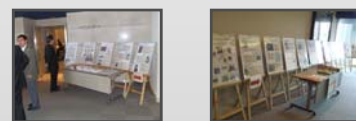
大学の提案の特色は、地域の研究教育機関と連携して事業を進めようとしていることです。2つの独立行政法人、理理学部のある2つの私立大学、2つの高専です。そのような連携を組むことによって、県全体の盛り上がりを期待しています。県の男女共同参画センターとは、理系分野における男女共同参画の推進として協力していきます。



～パールの輝きで、理系女性が三重を元気に～の実施体制



連携機関の女性研究者ポスター展



連携機関の女性研究者の発表



本年度のイベントと製作物

8月2日 キックオフ・シンポジウム



パールでも有名な伊勢市で、キック
オフ・シンポジウムを開催しました。
東北大学医学系研究科教授大隅典子
先生をお招きして、「好きな仕事を
つづけよう！」と題して講演会を行
い、続いて連携機関の現状報告会も
しました。

10月4日 有本建男先生の講演会



科学技術振興機構社会技術研究開発センター長の有本建男先生をお招きして「男女共同参画とイノベーション」をテーマに講演会を開催しました。会場では、連携機関の女性研究者を紹介するパネル展を同時開催しました。



11月1日 理系進路支援イベント



大学祭と同時開催のミニオープンキャンパスで、理系進学をめざす女子高校生に、勉学の楽しさや本学の取組みなどを紹介しました。また、本学ならびに連携機関の女性研究者を紹介するパネルを展示して、来場者にアピールしました。

アジア・コラボ

12月19日、20日には、本学のアジアの協定校から女性研究者を招きフォーラムを開催し、また大学院生は英文ポスターを作成しプレゼンを行います。国際的な行事を通して院生（パールリーダー）のエンカレッジをめざします。

理系分野における男女共同参画

2009年1月20日 三重県男女共同参画センター所長鈴木雅子先生を招いて講演会を行います。本学の教職員、学生に、「女性研究者支援モデル育成」事業を広く知ってもらい、学内からの広い支持を掘り起こします。連携機関の女性研究者にも集まっていたください。意見交換会を開催します。



◎ ワークライフバランス冊子とムードル手引き冊子の作成

☺ 就職データベースの構築



三重大学 女性研究者支援室 〒514-8507 津市栗真町屋町1577番地

TEL&FAX : 059-231-9830

E-mail: pearl@ab.mie-u.ac.jp